



たかやま

平成29年2月  
第61号

# 議会だより



平成28年第4回定例会 =平成28年12月招集=

- 定例議会の主な内容及び結果……P 2 ~
- 常任委員会視察研修報告………P 6 ~
- 一般質問 村政のここを問う！ …P 11 ~

## 平成 28 年第 4 回定例会

# 平成 28 年度一般会計予算の補正 5,726 万円を追加し、 総額は 27 億 8,776 万円に

平成 28 年高山村議会第 4 回定例会は、12 月 5 日に招集され会期を 12 月 9 日までの 5 日間と定め各議案等が審議されました。

今回の定例会の主な議案は、平成 28 年度一般会計及び 4 つの特別会計の補正予算、条例の一部改正、地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出についてなどであり、慎重審議の結果全議案等が可決されました。その他に、総務文教常任委員長及び農林建設常任委員長から視察研修に関する委員会報告がなされました。

また、3 名が行財政全般にわたって一般質問を行いました。

### 議案に対する本会議質疑

#### ◆職員の給与に関する 条例の一部改正につ いて

**総務課長** 懲戒処分を受けた者に対する規定がありません

でしたが、今回の改正により

懲戒処分を受けた者については別途考慮することとなります。

また、人事評価により勤務成績の判定も明確になつてきますので、行く行くは勤勉手当等に反映をさせることになります。

**林昌枝** 懲戒処分にも色々あるが、例えば減給処分を受けた者は、その時は減給になるが、その後は懲戒処分を受けない者と同様の扱いとなるのか。

**平形真喜夫** この改正により必要となる費用の総額はどのくらいか。

**奈良哲男** 扶養手当の変更は平成 29 年度から段階的に変更されるが、子の扶養手当を前倒しで増額できないか。

**総務課長** この改正内容は国家公務員に準拠しているため、平成 29 年度の経過措置を経て、平成 30 年度から実施されることとなります。

**林昌枝** 昇給を、勤務成績に懲戒処分等の事由を併せて考慮するということであるが、詳細な説明を。

**総務課長** 懲戒処分は規則に基づいて行いますが、村長が

この改正内容は国務成績の判定も明確になつてきますので、行く行くは勤勉手当等に反映をさせることになります。

**林昌枝** 懲戒処分にも色々あるが、例えば減給処分を受けた者は、その時は減給になるが、その後は懲戒処分を受けない者と同様の扱いとなるのか。

**平形真喜夫** この改正により必要となる費用の総額はどのくらいか。

**総務課長** 317 万 4,000 円となります。

**奈良哲男** どのような体制で人事評価を実施しているか。

**総務課長** 職員にそれぞれ目標を設定させ、一般職員については課長が、課長について



う話がされていたので、そのように理解をしていました。

**小林進** 高山村公式ホームページの委託料25万円の増額補正是、委託料が上がつたと

いうことか。

**地域振興課長** 本年度は課の再編があり、ホームページの修正作業が増加したためです。  
**林昌枝** 中学校で購入する暖房器具は何台を予定しているのか。

**教育課長** 北側の校舎では暖房効果が落ちるため、5教室にブルーヒーター型ストーブの設置を予定しています。  
**林昌枝** 教育長職務代理者の職務の範囲は。

**村長** 法律が改正されました

が、以前の教育委員長制度のままの役目でお願いしていま

す。

**教育課長** 法律の改正により教育長が教育委員会を代表することとなり、教育委員長職は廃止となりました。また、教育長に事故があるときや欠けたときのために教育委員の中から教育長職務代理者を指名することとなり大谷政代委員が指名されています。

現在高山村では教育長が不在のため教育長職務代理者に

教育委員会の会議を取り直しきつていただきたり、大きな行事などは教育委員会を代表し参加していただいております。

ただし、教育長が行うべき職務のうち教員の人事を初めとする事務的なものは、規則により教育課長に委任されております。

**林昌枝** 一般社団法人である全国社会教育委員連合から社会教育委員個人へ寄附の依頼があつたが、個人から寄附を募ることとした経緯は。

**教育課長** 全国社会教育委員連合は運営が厳しく、組織の存続が危ぶまれることから、意ではありますが寄付を募るという案件が承認されたためです。しかし、社会教育委員へ個人的に寄付を募るのはいかがなものかとも思いますので、今後、県等に個人的に寄附を募るのではなく、必要であれば負担金増額などの方法を検討するよう申し入れをしていきたいと思います。

## ◆平成28年度高山村国民健康保険特別会計 補正予算（第2号）

そ40年として管理しています。漏水事故件数は、平成27年度に21件、うち本管13件、今年度は既に23件、うち本管17件です。

## ◆地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について

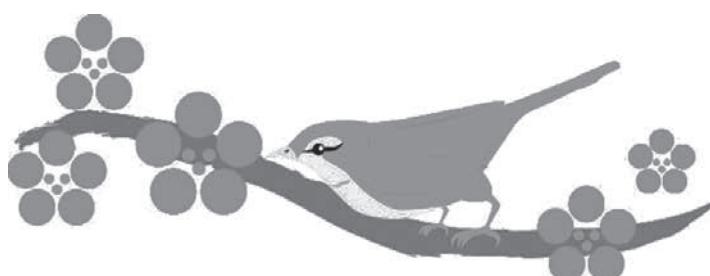
を養つていけないという意見もあるということを含みおいていただきたい。

### ◆平成28年度高山村簡易水道事業特別会計 補正予算（第2号）

**林昌枝** 水道管本管の修繕が増えているとのことだが、布設から何年経過しているか。

**建設課長** 昭和63年度から平成8年度にかけて飲雑用水モル事業により本管の布設替えを行っています。一番古いもので29年が経過していま

す。水道管本管の寿命はおよそ20年で、現在、地方議員のなり手について村民の方々と話をすると、現在の議員報酬では家族



## 議案などの審議結果

議案名等	議員名簿										賛 成	反 対	議 決 結 果	1 野 上 一 雄	2 割 田 毛 利 男	3 平 形 真 喜 夫	4 奈 良 哲 男	5 小 林 進	6 平 形 武 雄	7 平 形 富 二 夫	8 後 藤 新 次	9 林 昌 枝	10 有 馬 嘉 太 郎
	1 野 上 一 雄	2 割 田 毛 利 男	3 平 形 真 喜 夫	4 奈 良 哲 男	5 小 林 進	6 平 形 武 雄	7 平 形 富 二 夫	8 後 藤 新 次	9 林 昌 枝														
<b>高山村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について</b> 群馬県人事委員会の勧告にあわせ期末手当を0.1ヶ月分引き上げる改正です。	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
<b>高山村特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について</b> 群馬県人事委員会の勧告にあわせ期末手当を0.1ヶ月分引き上げる改正です。	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
<b>職員の給与に関する条例の一部改正について</b> 群馬県人事委員会の勧告にあわせ給料を平均0.2%引き上げ、勤勉手当を0.1ヶ月分引き上げ、配偶者の扶養手当を減額し子の扶養手当を増額するなどの改正です。	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
<b>高山村税条例等の一部を改正する条例</b> 地方税法等が改正されたことによる改正で、主な内容は延滞金の改正、医療費控除の特例の新設、償却資産の特例の新設などです。	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
<b>高山村国民健康保険税条例の一部改正について</b> 外国居住者等所得相互免除法が改正されたことによる改正で、税の算定に分離課税となる特例適用の利子及び配当等を総所得金額に含めることがあります。	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
<b>平成28年度高山村一般会計補正予算(第4号)</b> 役場庁舎の耐震診断、基幹作業道の整備、いぶきの湯駐車場舗装工事、道の駅整備事業に伴う残土処理の追加を主とするもので、予算総額を27億8776万円とするものです。(補正額:5726万円の増額)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
<b>平成28年度高山村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)</b> 高額療養費の増額を主とするもので、予算総額を6億6471万4千円とするものです。(補正額:550万円の増額)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
<b>平成28年度高山村介護保険特別会計補正予算(第2号)</b> 介護サービス給付費の増額を主とするもので、予算総額を5億2365万7千円とするものです。(補正額:601万円の増額)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
<b>平成28年度高山村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)</b> 水道管修繕料の増額を主とするもので、予算総額を8551万2千円とするものです。(補正額:153万9千円の増額)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
<b>平成28年度高山村水をきれいにする事業特別会計補正予算(第2号)</b> 給与改定による人件費の増額を主とするもので、予算総額を1億4572万2千円とするものです。(補正額:10万1千円の増額)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										
<b>地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について</b> 地方議会議員が厚生年金制度へ加入するための法整備を求める意見書を国会、内閣及び関係省庁に提出するものです。	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-										

# 農林建設常任委員会研修報告

- 茨城県行方市 「なめがたファーマーズヴィレッジ」
- 栃木県那珂川町 「木質バイオマス発電、バイオマスボイラ余熱利用」「休耕田利用によるホンモロコ養殖」



なめがたファーマーズヴィレッジにて

J A なめがたと白ハトグループが手を取り合って、やきいもミュージアム、さつまいも工場、農業体験、手作り体験教室、レストラン、カフェ等を集結して作り上げたのが「なめがたファーマーズヴィレッジ」だそうです。

その中で、生産から商品になるまでの6次産業化を推進した、さつまいも工場の施設を見学しました。少子高齢化に歯止めをかけようと努力



ホンモロコ

農林建設常任委員会では、10月25日、26日の2日間、有馬議長、割田地域振興課長、飯塚農林課長、後藤議会事務局長の同行にて、茨城県行方

市のなめがたファーマーズヴィレッジ及び栃木県那珂川町のバイオマス発電所等を視察してまいりました。

1日目は、白ハトグループ木下常務の案内での「なめがたファーマーズヴィレッジ」を視察しました。説明によりますと、ここは2013年に廃校になった小学校の跡地で、地元の人達の成長を100年以上見守り続けてきたこの地

を、もう一度笑顔でいっぱいにしたいという思いで選び、素晴らしい自然の中で土とふれあい、農業を体験して、いくつもの食が楽しめる施設にしようということで行方市、

また、2日目には那珂川町環境総合推進室の薄井様の道案内で、休耕田を利用したホンモロコの養殖池へ案内していただき、那珂川町ホンモロコ研究会の川和会長より説明を受けました。ホンモロコは琵琶湖特有のコイ科の小魚で、体長は10cmから15cm位で、肉質も良く、関西では高級魚として取り扱っているとの

**色々な事業を検討し、高山村にあつた地域振興策を摸索していくことが必要**

農林建設常任委員長 平形武雄

し、雇用の確保と地域の特産品のブランド化を目指して、このような立派な施設を作り上げ、全国に販売しているとのことでした。

平成2年に地元の馬頭高校水産科が養殖に成功したことを見て、那珂川町が耕作放棄地の解消と特產品作りに活用に取り組み、農家6戸が同研究会を設立して、休耕田を利用した養殖に挑戦したとのことでした。その後同校では、採卵した20万粒を養殖池に放流し、町の助成を受けて取り組んでき、販路拡大に努力し現在に至っているとのことでした。

### ホンモロコ養殖場



その後、バイオマス発電所に案内されて、株式会社トーセン山林経営部経営課の小高課長よりバイオマス発電、バイオマスボイラの余熱利用についての概要説明を受けて、館内外の施設を視察しました。この場所は学校跡地であり、那珂川町より校舎、敷地を借り受け、各施設を建設していくとのことでした。豊富な森

林資源に恵まれているにもかかわらず、手が入らずに荒廃した山林が多く、間伐した木は山に捨てられているので、この残材を木質バイオマス発電にと利用することで、地域の雇用の確保と産業の発展が生まれることで、2500kwの発電を行い、約500戸の家庭へ送電できるそうです。



木質バイオマス発電施設

また、地元産業への熱利用事業として、バイオマスボイラの蒸気熱を熱交換器によつて温水に変え、マンゴーの栽培やウナギの養殖を行つて温水に変え、マンゴーの栽培は工場の隣接地に農家の栽培は工場の隣接地に農家のハウス内に敷設された配管を温水が通りハウス内を暖めることにより、寒い地域でもコストを抑えられ栽培が可能となつたそうです。ウナギの養殖は、廃校となつた校舎内に設置された水槽を視察しましたが、マンゴー栽培同様、

蒸気熱を利用して水を暖めているとのことでした。

今後、高山村でもこのような事業を参考にして、地域振興の施策を講じていかなくてはならないと思います。天候にも恵まれ、参加者全員が無事に有意義な視察が出来ましたことを申し上げ報告といったことを申し上げ報告といったことを申し上げ報告といたします。



マンゴーのハウス栽培

※農林建設常任委員会	委員長	平形 武雄
	副委員長	平形富二夫
委員 哉田毛利男	委員 後藤 新次	委員 奈良 哲男

# 総務文教常任委員会研修報告

- 新潟県上越市「デジタル式防災行政無線、防災・減災対策」
- 新潟県柏崎市「包括的支援事業（生活支援体制整備事業）」



上越市議会議場にて

**改正介護保険法の施行により、住民サービスが低下することのないよう配慮を**

**総務文教常任委員長 林 昌枝**

総務文教常任委員会では、  
去る11月7日、8日の2日間、

議長、林住民課長、大渕総務  
課参事、後藤議会事務局長の  
同行を頂き、新潟県上越市と

柏崎市の行政視察研修をいた  
しました。

初日、11月7日は上越市に  
おけるデジタル式防災行政無  
線の活用状況及び防災・減災  
対策への取り組みについての  
研修でした。上越市議会副議  
長の宮崎政國氏、議会事務局  
の清水浩史氏をはじめ、防災  
危機管理部の担当者4名の方々  
が快く出迎えて下さいま  
した。

初めに、副議長より市の概  
要説明を受けました。平成17  
年1月、14市町村が合併し人  
口21万人、面積973km<sup>2</sup>、中  
山間地域が70%で、積雪は海  
岸沿いでは0～17cm、山沿い  
では4m～5m、除雪費用と  
して30億円を計上し460台  
余りの除雪車がフル稼働して  
いるそうです。年間で観光に

訪れる人は170万人（17  
5万人で、桜まつり、蓮まつ  
り、夏まつり、戦国の名将上  
杉謙信公をはじめとする武將  
隊の郷めぐりが主な観光だそ  
うです。

研修の概要については次の  
とおりです。

**①デジタル式防災行政無  
線について**

当初、地区によってアナロ  
グ方式、デジタル方式による  
同報系無線、CATV告知端  
末方式、NTT回線によるオ  
フトーク通信方式など様々で  
あり、一斉放送など統一的な  
運用が図られず、各世帯に直  
接的に災害情報を伝達するこ  
とが出来なかつたため、平成  
16年12月に一元化した運用を  
図るため、デジタル方式の同  
報系無線システムを構築し、  
各世帯に個別受信機を設置す  
る整備移行計画書を国に提出  
した。年間の維持管理費とし  
て、平成27年度決算では48  
33万円とのことでした。

市の独自の伝達ツールとして、登録した携帯電話やインターネットメールに防犯、防災、火災、交通安全情報などをメール配信しているとのことでした。

## ②防災・減災対策について

### (1)地域防災計画

一般災害対策の5編で構成されており、それぞれの災害において、予防計画、応急対策計画、復旧・復興計画を定め、市、市民、県、防災関係機関等の役割を明記しております。

### (2)災害対応マニュアル

各種応急対策については、災害発生時や状況の推移、実行すべき対応を具体的に示し、地震・津波、水害・土砂、原子力の3編で災害対策のマニュアルを作成しております。

### (3)事前行動計画（タイムライン）

事前から災害発生が予想される事態において、「いつ、誰が、何をする」のかを明確にしたタイムラインを作成していました。



上越市役所にて



上越市役所にて

### (4)災害物資等の備蓄状況について

市の備蓄数は、人口の約100分の1人分の2食分としており、その考え方として、1～3食目は個人の備蓄、4～5食目は市町村の備蓄、6～8食目は県の備蓄及び他市町村からの救援物資、9食目以降は県外からの救援物資等によるとのことでした。

また、他の地方公共団体や民間団体等と災害時応援協定を締結し、流通備蓄の提供を優先的に受けられるような体制がとられ、災害発生時には市内22か所の市立中学校を救護所として設置することとしており、救急用品等の配備をしているそうです。

### ①包括的支援事業の概要について

「できる限り住み慣れた地域で、最後まで尊厳をもつて自分らしい生活を送りながら老いていきたい」という考えは多くの人々の共通する願いです。その願いを叶えるために医療、介護、予防、住まい等生活支援が一体的に提供されれる「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みを推進しています。人口減少・少子高齢化の進行により、介護

会事務局の山崎哲夫氏に出向いていただき、保健福祉部介護高齢課の担当者の方々より説明を受けました。柏崎市は、人口8万600人、9年間で7700人減少しており、高齢化率は31%、面積は442・7km<sup>2</sup>で42km<sup>2</sup>が海岸のことでした。

研修の概要については次のとおりです。

2025年までは、高齢者のひとり暮らしが一層増加し、財政状況から「自助、公助」の大大幅な拡充を期待することは難しく、「自助、互助」の果たす役割が大きくなることを意識した取り組みが必要となります。

以上、上越市では防災危機管理部、危機管理課があり、常に防災・減災に配慮していることがありました。

2日目、11月8日は新潟県において最も早く包括的支援事業（生活支援体制整備事業）に取り組んでいる柏崎市での研修でした。

午前中の訪問でしたが、ご

多忙の折にもかかわらず、柏崎市議会議長斎木裕司氏、議



柏崎市役所にて

の3年間で、在宅医療・介護の連携、認知症施策の推進、日常生活支援等、10年先を見据えた新しい総合事業を推進する期間としています。「自助、互助、共助、公助」からみた地域包括システムを重視し、団塊の世代が絡んでくる2025年までは、高齢者のひとり暮らしが一層増加し、財政状況から「自助、公助」の大大幅な拡充を期待することは難しく、「自助、互助」の果たす役割が大きくなることを意識した取り組みが必要となります。

柏崎市では、計画の期間は平成27年度～平成29年度まであります。

基本理念である「高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持つ安心して暮らせる地域社会の実現」のためにも、「介護予防を重視した健康づくりの環境整備」、「安心して自立生活ができる地域づくり」、「要介護になつても在宅生活ができる支援体制の整備」等が必要不可欠であります。

## ② 基幹型くらしのサポートセンターについて

国の介護保険制度の改正に伴う新しい総合事業の内容を受け、市介護高齢課内に地域包括ケアの検討会を立ち上げ、生活支援サービスの充実に関する研究会を継続して開催し、生活支援コーディネーター及び協議体の候補者と体制づくりを検討し、平成28年4月には、生活支援コーディネーター、協議体を設立し拠点施設となる「くらしのサポートセンター」を整備しました。取り組みの重点目標として、住民啓発、地域資源の把握、ネットワーク化・連携、助け合いモデルの推進策を掲げています。

平成29年4月からは総合事業を開始し、全国一律の介護予防給付から、市が地域の実

情に応じて、対象となる從来の要支援1、2の認定者のサービス事業へ移行します。移行当初は、訪問型、通所型ともに現行相当サービスから開始するようです。

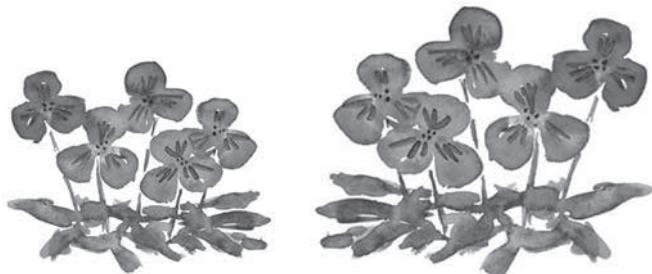
くらしのサポートセンターでは、デイホーム活動を中心とし、お茶の間活動、ボランティアによる助け合い活動などを行い、地域交流や助け合い活動の拠点となることを目指しているとのことです。

今回実施した行政視察は、どちらも高山村において直面していることですので、大変有意義な研修でありました。

人口規模の違う両市でしたが、明日は我が身と思うとき、大いに取り入れて進めていきたいことが沢山ありました。

国の方針により計画変更が問われていますが、住民へのサービスについては低下することのないよう、行政と各地域の話し合いの元、誰もが理念に基づいた生活ができるよう、執行部の指導と配慮をお願い申し上げ報告といたします。

※総務文教常任委員会  
委員長 林昌枝  
副委員長 平形眞喜夫  
委員 有馬嘉太郎  
委員 小林進  
委員 野上一雄



## 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を提出

提出先：衆議院議長、参議院議長、

内閣総理大臣、内閣官房長官、  
財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

行財政全般  
にわたって  
執行部に質問を  
行います

# 一般質問

一般質問の記事は、  
各質問者が  
それぞれ編集し  
掲載しています。



野上一雄議員

**Q 小規模企業の育成支援を**

**A それぞれの業者と取引をしていく**

納入していた高山村物資納入組合は、平成7年、ふれあいプラザ開設時に高山村商工会とで設立した組合と理解しています。商工会員の得意分野で納入に携わってまいりましたが、規制緩和、価格破壊等で小規模企業には為すすべもなく現在に至っています。努力する人が報われる世の中であつて欲しいと思うとともに、村当局の寛大さを期待しているところでもあります。近隣町村では東吾妻町のみ物納を商工会員が行っているそうです。

物資納入組合からの納入額は、平成8年2800万円、平成13年1700万円、平成18年910円万、平成23年71万円、平成27年42万円と推移しています。世の中の流れと組合を経由したらと思うのは組合を再編した場合、利用する考え方があるか。また、現在私が開設時の金額が物資納入組合を経由したらと思うのは組合を再編した場合、利用する考え方があるか。また、現在のふれあいプラザへの納入業者名を公表願います。

商工会に、「この件に関しで話し合いはあつたか」と尋ねましたら、「村とは話合いはしていません。ふれあいプラザには掛け合いましたが、コスト削減ということで、それ以上は言えませんでした。」という事でした。このような重要な案件には、相互の話し合いが必要と考えます。一方的に打ち切りにするのではなく、きめ細かな配慮ある対応をお願いいたします。村長のご所見を伺います。

**村長**

物資納入組合についての経緯、現状を申し上げます

と、平成7年に高山村物資納入組合が立ち上がりました。

当時は、酒類、ジュース類、アイスクリーム、肉、野菜、刺身等を物資納入組合を通して仕入れており、売り上げは2800万円ほどありました。平成18年に指定管理者制度が導入され首都圏建物サービスが高山村の観光施設の管理運営を行うようになり、この頃から物資納入組合との取引が少なくなっています。現在では大広間で使用するジュース類のみ高山村物資納入組合より購入しております。そのため以前に増して冷凍食品の取り扱いはあります。

なお、納入業者については次のとおりです。

・丼の具・カレー・レトルト類：日本食研、関東食品  
・麵類：クリタ食品  
・野菜：直売所、Aコーポ、寺田ストア、タケヒロ  
・酒類：吉岡酒店  
・肉類：メトロキャッシャンドキヤリージャパン、小平精肉店  
・刺身類：沼田大雅水産  
・つまみ類：吉田食品  
・だし・その他：トーホー北関東  
・米・地元農家

**問** 高山村の商工業者の育成支援の観点から、なるべく地元の業者を利用くださるようお願いします。



## A 社会福祉協議会や民生委員の協力で実施



平形眞喜夫議員

**問** 全国的に少子高齢化が進行し、特に人口減少が顕著であります。高山村においても高齢化率も上昇しております。高山村への対策は重要な課題と考えております。高山村の高齢化率は33・4%、国は26・8%、県では27・6%です。国や県の高齢化率に比べ約6%高いのが高山村の現状となっております。

特に一人暮らしの高齢者の見守りが必要と考えます。一人暮らしの数は概ね130世帯と聞いております。一人暮らしの高齢者の見守り支援体制がとても大切なことだと思っております。

高齢者の見守り支援として、平成28年度はどのような事業を行ったのでしょうか。

また、平成29年度にはどのような事業を予定しておりますか。

**村長**

ご存じのように日本全国で少子高齢化が進んでおります。高山村においても平成27年の国勢調査において、65歳以上の高齢化率33・4%、75歳以上の後期高齢者は20%と、県平均に比べて大きく上回っております。

高山村を築いてこられた方々の雪かきについても老人世帯を対象として実施の予定であります。これらの事業については、高山村の健康保持及び孤独感の解消のため、65歳以上の高齢者等への配食サービス、高齢者の健康保持及び孤独感の解消のため、65歳以上の高齢者を対象にして配食サービスを社会福祉協議会に委託をしております。

二として、緊急通報システム設置事業、一人暮らしの高齢者等の急病や災害時などの緊急時に迅速かつ適切な対応を図るため、緊急通報の設置を進めています。

三として、紙おむつ等給付事業、在宅の療養者及び介護者である家族の負担軽減と在宅生活の維持を支援するため、紙おむつ等の現物給付を実施しております。

四として、寝具等クリーニング利用券支給事業、在宅の療養者及び介護者である家族の負担軽減と在宅生活の維持を支援するため、寝具等のクリーニングに使用できる利用券の支給を社会福祉協議会に委託して実施しております。

この他、福祉バスの運行、バスの割引券、お使いなどの有償運送なども実施しております。

介護保険法の改正により、要支援の1・2が介護保険からはずされましたが、民間の力を借りて要支援1・2の方を支援していきましょうという協議体の組織作りが、社会福祉協議会、民生委員の皆さんとの協力を頂きながら進められております。一人暮らしの世帯が増える傾向にあることから、将来、生活を共にするシニアハウス、自活出来る老人の共同生活、グループホームの施設整備等を考えています。

高山村を築いてこられた方々の雪かきについても老人世帯を対象として実施の予定であります。これらの事業については、高山村の健康保持及び孤独感の解消のため、65歳以上の高齢者等への配食サービス、高齢者の健康保持及び孤独感の解消のため、65歳以上の高齢者を対象にして配食サービスを社会福祉協議会に委託をしております。

介護保険法の改正により、要支援の1・2が介護保険からはずされましたが、民間の力を借りて要支援1・2の方を支援していきましょうとい

ます。また、今シーザン、冬の高齢者の支援事業を実施しております。

一として、一人暮らしの高齢者等への配食サービス、高齢者の健康保持及び孤独感の解消のため、65歳以上の高齢者を対象にして配食サービスを社会福祉協議会に委託をしております。

二として、緊急通報システム設置事業、一人暮らしの高齢者等の急病や災害時などの緊急時に迅速かつ適切な対応を図るため、緊急通報の設置を進めています。

三として、紙おむつ等給付事業、在宅の療養者及び介護者である家族の負担軽減と在宅生活の維持を支援するため、紙おむつ等の現物給付を実施しております。

四として、寝具等クリーニング利用券支給事業、在宅の療養者及び介護者である家族の負担軽減と在宅生活の維持を支援するため、寝具等のクリーニングに使用できる利用券の支給を社会福祉協議会に委託して実施しております。

高山村を築いてこられた方々の雪かきについても老人世帯を対象として実施の予定であります。これらの事業については、高山村の健康保持及び孤独感の解消のため、65歳以上の高齢者等への配食サービス、高齢者の健康保持及び孤独感の解消のため、65歳以上の高齢者を対象にして配食サービスを社会福祉協議会に委託をしております。





割田毛利男議員



**問** 村長は、立候補時に「笑顔で輝く高山村」をキヤッチフレーズに、道の駅の充実、教育環境の整備、農業振興、の推進等の公約を掲げました。が、現在の状況をお聞かせ下さい。

**村長** 道の駅の充実についてですが、農産物等生産者の努力によって、販売している野菜等の内容は大変良くなっています。まいまりましたが、施設の維持管理を考えると自立とはまだまだ遠い段階にあります。ただいま緑地公園の整備をしていますが、これからも宿泊設備や加工場、新たな直売所の新設等、ひとつずつ消化していかなければと思っております。

**問** 教育環境の整備についてですが、主な環境整備といたしまますと、小中学校へタブレット型パソコンを導入したことだと思います。タブレットの導入は県内でも早いほうであり、村の子育て支援策の目玉とと考えております。今後の有効活用に期待しています。社会教育関係では文化財の整備として、添うが森と添わづが森の周辺整備や中山城址に標

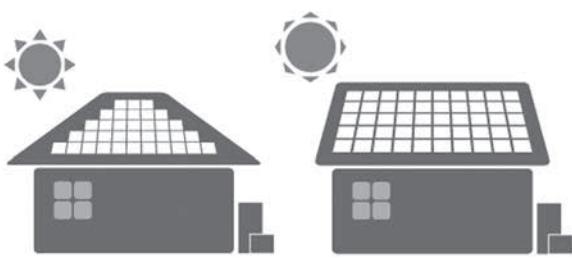
**柱看板の設置をしました。また、高山村の文化財という冊子も文化財調査委員にお世話を**

**昨年度から開催している総合教育会議で教育委員と教育に**

**などを充実させ、幼保小中の一貫教育、生涯学習、社会教**

**育の推進に努め、今後も教育環境の整備に努めてまいりたいと考えております。**

**農業振興についてですが、遊休農地が比較的少ないのは、おいしい米作りに取り組んでいること、ソバの作付けが増えたことがあります。この先ブランド化に向けての取り組みがさらに進み、有効な販売傾向に進むと思われます。**



**問** 太陽光発電の推進についてですが、高山村でも住宅用太陽光発電システム設置費補助金をつけて普及を図つてまいりました。平成22年度より累計では58件実施されておりました。メガソーラーの開発では5つの会社が計画をしており、原地区においては最大26メガワットの発電が10月28日から稼働しております。他の4つの会社については、関田地

**柱看板の設置をしました。また、高山村の文化財という冊子も文化財調査委員にお世話を**

**昨年度から開催している総合教育会議で教育委員と教育に**

**などを充実させ、幼保小中の一貫教育、生涯学習、社会教**

**育の推進に努め、今後も教育環境の整備に努めてまいりたいと考えております。**

**農業振興についてですが、遊休農地が比較的少ないのは、おいしい米作りに取り組んでいること、ソバの作付けが増えたことがあります。この先ブランド化に向けての取り組みがさらに進み、有効な販売傾向に進むと思われます。**

**柱看板の設置をしました。また、高山村の文化財という冊子も文化財調査委員にお世話を**

**昨年度から開催している総合教育会議で教育委員と教育に**

**などを充実させ、幼保小中の一貫教育、生涯学習、社会教**

**育の推進に努め、今後も教育環境の整備に努めてまいりたいと考えております。**

**農業振興についてですが、遊休農地が比較的少ないのは、おいしい米作りに取り組んでいること、ソバの作付けが増えたことがあります。この先ブランド化に向けての取り組みがさらに進み、有効な販売傾向に進むと思われます。**

**柱看板の設置をしました。また、高山村の文化財という冊子も文化財調査委員にお世話を**

**昨年度から開催している総合教育会議で教育委員と教育に**

**などを充実させ、幼保小中の一貫教育、生涯学習、社会教**

**育の推進に努め、今後も教育環境の整備に努めてまいりたいと考えております。**



**問** 現在新しく緑地公園が整備されていますが、ペットを連れて来村される人たちも増えてくると思われます。ぜひペット専用の水飲み場を作つて欲しい。

**村長** ドッグラン等々、これからも整備出来ればということでお考えしております。ペット専用の水飲み場についても考えなければいけないと考

# 村民ひらば

## 高山村に嫁いで

**金岡 和佳子（北之谷地区）**

北之谷の菊農家の嫁、金岡和佳子です。子育てと共に始まつた私の高山村での暮らしが、早いもので十数年が経ちました。緑豊かなこの地で子育てしながら、農作業しながら、以前から好きだった草木染を楽しみました。子供の七五三の着物を染めたいといつ気持ちから始まつた藍草栽培。やたら出てくる雑草で、雑木林の木を採取しては染めました。

草木染を通してたくさんの人とも出会いました。交流施設なごみで藍の生葉染会、道の駅での星の市、今年は中学校PTA家庭教育委員会で草木染教室もさせて頂きました。楽しい染め会でした。子供たちもこの春で義務教育が終わります。保育所、幼稚園、給食、通学バス、中学生海外ホームステイ、就学補助金等高山村での子育ては手厚い村の支援があり本当に助かりました。感謝の気持ち一杯です。



平成29年2月											
30日	23日	22日	13日	17日	7日(火)	1日	3日	28日	24日	21日	16日
高山中学校卒業式	高山幼稚園卒園式	高山幼稚園	高山中学校	議会全員協議会	高山村役場	議員控室	高山村役場	高山村役場	中之条町	吾妻振興局県政説明会	中之条町
高山小学校卒業式	高山小学校	高山小学校	議場	議員控室	議場	議場	議場	議員控室	前橋市	高山村表彰式、生涯学習・社会福祉推進大会	いぶき会館
平成29年高山村議会第2回臨時会	高山村役場	議場	議場	議場	議場	議場	議場	議員控室	中之条町	議会運営委員会	高山村管内教職員研修会

## 今後の議会の動き



### 【発行責任者】

委 員 委 員 員 員 員  
員 員 員 員 員 員  
野 割 平 林 奈 良 馬 嘉 太 郎  
上 田 形 良 昌 哲  
一 毛 利 男 真 喜 夫 枝 男  
雄

割田 毛利男

謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
昨年は、熊本の地震、台風による水害、糸魚川市の大火と大きな災害が発生しました。現地での一日も早い復興を願っております。本年も読みやすい議会だよりを心がけ、編集委員一同努力したいと思います。  
今年一年が村民皆様にとりまして素晴らしい年でありますように心から願っております。

### 編集後記

### お知らせ

#### 平成29年高山村議会 第1回定例会（予定）

- ・3月 7日(火) 初日
- ・3月 17日(金) 最終日
- 両日とも午前10時 開会

【一般質問は17日（金）】

・議会傍聴について（先着18名）

当日受付をして簡単に傍聴することができます。  
詳しくは議会事務局へお問い合わせ下さい。

☎0279-63-2111(代表) または

☎0279-26-7957(直通)